

おはようバナナ!

南池袋小学校では、1月21日に「おはようバナナ!」が行われました。これは、朝の授業の前にみんなで一緒にバナナを食べる時間を持ったものです。

南池袋小学校にも、朝食を食べてこない子がいるという話があり、お正月明け、規則正しい生活『早寝・早起き・朝ごはん』を身に着けるようにと、児童が委員会活動(保健委員会)で話し合いをしました。

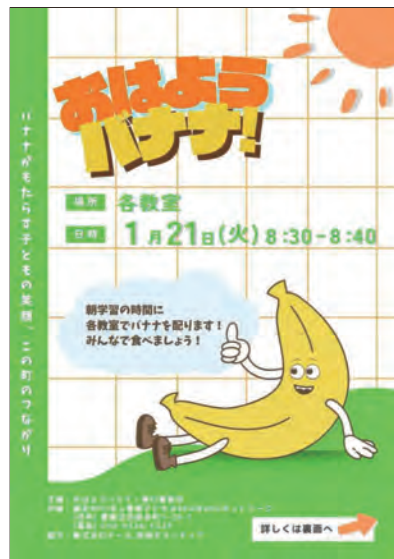
「おはようバナナ!」の取り組みは、他校などで行われており、コーディネートしたNPO法人WAKUWAKUネットワークに協力いただきました。そして、保護者の皆さんにお手伝いを募り23名のご協力、地域から育成委員・民生児童委員・登校見守隊の14名、計37名がお手伝いしました。

食べる前に保健委員の児童よりバナナの栄養の話を送り、みんなで「いただきます」をして食べました。

お手伝いいただいた保護者の方からは、お互いに知り合いではなかったけれど、雑司が谷公園などでよく見かける方もいて、気持ちよく参加できましたとの声がありました。

今回だけでなく、来年度以降も続けてもらいたい企画です。

(松浦和代)



まちづくりニュース
2025・3
通算92号

ぞうしがや

<http://zoshigaya.org>

●企画/発行
雑司が谷・南池袋
まちづくりの会

●事務局・連絡先
豊島区地域まちづくり課
事業第1グループ
03-3981-0489

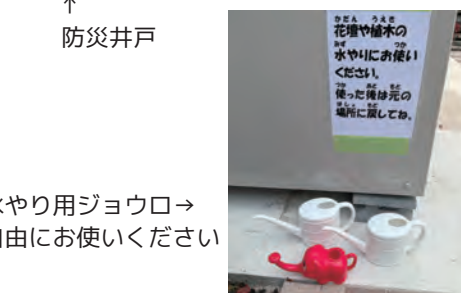
完成「にこにこプチひろば」

まちづくりひろばワークショップで令和4年度から検討を行い、昨年度区に提案したまちづくりひろばが完成しました。ひろばは「にこにこプチひろば」と名付けられました。

花壇を中心にした広場で、周辺には井戸やかまどベンチ、ソーラー照明、防災倉庫が整備され、災害時にも役立つ広場となります。扉は付いていますが、自由に入れます。お気軽に休憩などに利用してください。

雑司が谷・南池袋まちづくりの会を母体に作られた「にこにこ会」の皆さんが維持管理を行います。工事が終わった12月14日に、花壇づくりをして完成を祝いました。

にこにこ会では、お手伝いいただける方を募集しています。掲示板に作業予定などを貼り出しますので、是非ご参加ください。また、散歩のついでに花に水やりをしてくださる方も大歓迎です。倉庫の脇にジョウロが置いてあります。井戸の水を汲んで花や植木に水をあげてください。



連載 雑司が谷の風景「法明寺の桜」



法明寺は、前身である威光寺が810年(弘仁1年)に創建されました。平安時代初期のことで、今年で1215年の歴史を歩んできました。雑司が谷でも特別に古い寺院です。

参道の桜並木は、江戸時代から桜の名所として知られていたそうです。今でも、豊島区の桜の名所に数えられており、季節になると桜のトンネルとなって、変わらずに歩く私たちを迎えてくれます。

絵の中で桜を楽しんでいるのは、私たち家族です。描いている時には何も言わなかったのですが、後から教えてもらいました。家族にとっても特別な1枚となっています。

小池俊夫画「法明寺の桜」パステル 450x525mm

(小池陸子)

老朽建築物の除却や建替えをお考えの皆さまへ 不燃化特区の助成制度が終了予定です

現在、雑司が谷・南池袋地区の不燃化を促進するために、区では老朽建築物の建替えや除却に要する費用の一部を助成しています。この助成金を受け取るためには、令和7年12月26日までに工事完了と助成金交付申請書の提出が必要です。

また、老朽建築物を取り壊す前に区に申請し、承認を受ける必要があります。ご検討中の方は、お早めに下記にお問い合わせください。

問い合わせ先: 豊島区地域まちづくり課 電話: 03-3981-1464



すすむ 雑司ヶ谷霊園の再生

東京都建設局の担当者をお迎えして

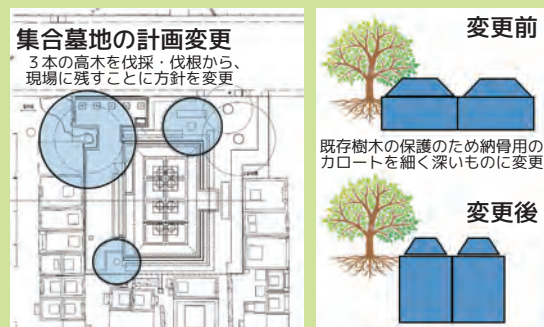
雑司ヶ谷・南池袋まちづくりの会では、雑司ヶ谷霊園の整備について、10月28日に東京都建設局公園緑地部計画課・東部公園緑地事務所工事課と公益財団法人東京都公園協会の担当者においでいただき説明を伺いました。

雑司ヶ谷霊園の再生については、令和2年度に東京都から「雑司ヶ谷霊園再生のあり方について」が答申され、墓所の移転や返還等によって、広場や集合墓地を整備する計画案が提案されました。そして、園内のお茶屋さん跡地につくる集合墓地の案が示されました。

ところがこの集合墓地の計画案が、周辺の樹木を伐採して建設するというものでした。それに対し雑司ヶ谷霊園の緑を守る会やまちづくりの会が、樹木を残してほしいと要望したという経緯があります。

地元からの意見を踏まえて、東京都では既存樹木を残すように集合墓地の案を見直しをしました。まちづくりの会では、その案について説明をいただきました。

集合墓地の工事は終了し、令和7年秋頃より使用が開始されます。道路際の大木は残され、地下施設となる施設の上は苔となっています。墓地の景観ともなじんだ施設となっています。



地区の中にある日本女子大学寮の敷地は、防災や緑の環境にとって大きな役割を果たすことが期待されます。中には明桂寮という文化財級の建物も残されています。

まちづくりの会で明桂寮を見学したいとの声があり、日本女子大において10月25日に見学会を開催しました。普段は立ち入ることができない明桂寮では、昔の寮生活を垣間見ることができました。また、想像以上に緑がゆたかで静かな環境であることを見ることができました。敷地内の見学の後に敷地周辺も見て回り、多くの課題を見つけることができました。

まちづくりの会では、この寮の敷地を通じて、日本女子大学とともに、住みよく災害に強い安全なまちづくりと考えていきたいと思っています。そして、日本女子大学とのよりよい関係性の形成にむけて、話し合いの場を設けてほしいとの提案書を取りまとめています。



緑豊かな敷地



明桂寮の前で記念撮影



北側の区道との境界

環状第5の1号線の今

東京都建設局・交通局の担当者をお迎えして



雑司ヶ谷・南池袋まちづくりの会では、環5の1の工事が今どうなっているかについて、2月6日に東京都建設局第四建設事務所と交通局建設工務部の担当者に説明を伺いました。

現在の地下道路構造の環5の1は平成23年度(2011年度)から事業がはじまりました。平成27~28年度には地上部の整備について、関連する地元町会などとの意見交換を行ってきました。また、平成28年6月にはまちづくりの会において第四建設事務所の担当者2名と、ワークショップ形式で地元の意見をお伝えする機会も持ち、令和3年11月にはその後の状況について説明をいただきました。今回は、それ以来の工事の状況を直接お聞きする会合となりました。

東京都の担当者からは工事の進捗について次の説明がありました。

1工区：今後、目白通り下のトンネル工事、明治通り上での開削トンネル工事などを実施予定。現在、これらの工事に向け、立坑築造工事や都電の軌道仮受工事などを実施中。

2工区：地下トンネルの躯体が完成、今後、地上部で都電の軌道復旧工事などを実施予定。

3工区：地下トンネルの躯体が完成。今後、地上部で横断歩道橋工事、電線共同溝工事などを実施予定。

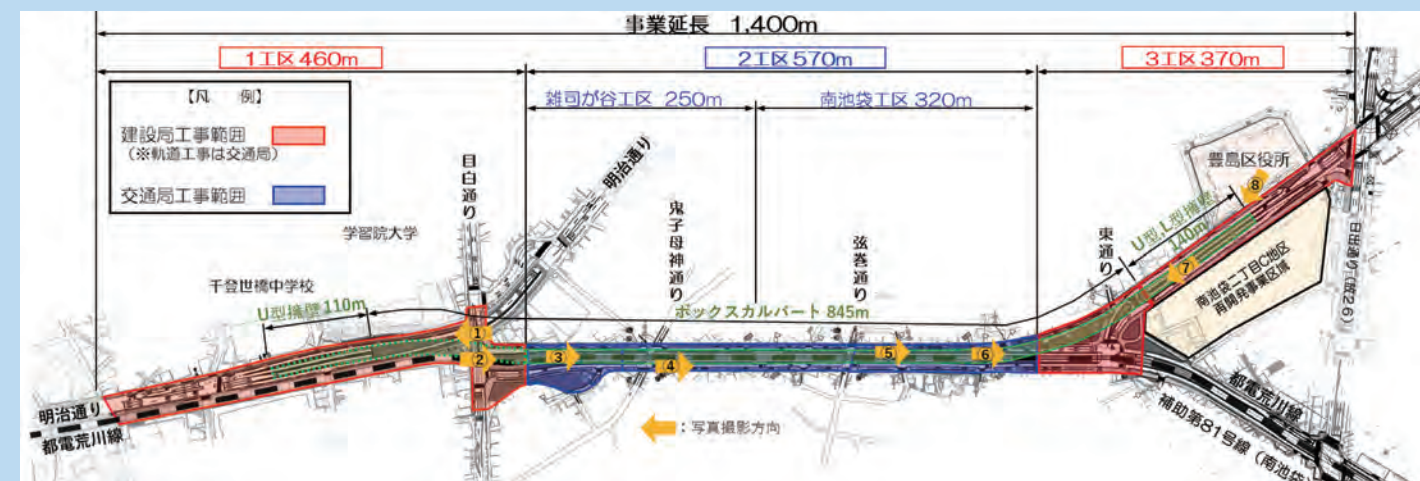
まちづくりの会からは、東京都に対して次の要望や意見が出されました。

○地下の計画は地元住民には関係がない。地上部がどのような形になり、いつ整備されるのか知りたい。

○家の前で工事が行われている。いったいつまで工事が続くのか、教えてほしい。

○長い工事によって不便を感じている。弦巻通りとの交差点では信号もないので危険だ。地上だけでも早く整備してほしい。

東京都からは、今後も様々な工事を行いながら、令和9年度末を目指して事業を行っていく。引き続きご理解とご協力をお願いしたいとの言葉がありました。



1工区(明治通り)



2工区(トンネル内)



3工区(豊島区役所前)

日本女子大学明桂寮を見学